

2023年8月 東京地区百貨店売上高概況

2023年9月25日

I. 概況

1. 売上高総額	1, 135億円余
2. 前年同月比(増減率)	10.0%(24か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭17.7%(91.8%)：非店頭-36.3%(8.2%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2023年7月対比±0店)
5. 総店舗面積	728,746㎡ (前年同月比：-8.3%)
6. 総従業員数	13,785人 (前年同月比：-7.0%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 17.2%、2-4月 14.5%、3-5月 10.7%、 4-6月 9.8%、5-7月 10.1%、6-8月 10.8%

[参考] 2022年8月の売上高増減率は38.4%

【特徴】

- (1) 8月の東京地区は、売上高10.0%増(24か月連続)、入店客数14.7%増(8か月連続)と共に二桁増となった。前月から記録的な猛暑が続いたことで盛夏商材が活発に動いたことに加え、高付加価値商材や免税売上の増勢が業績を押し上げた。また、都内各社が夏休みやお盆等の子供・ファミリー向け催事や文化催事を多数展開し集客増に繋がった。なお、コロナ前の2019年比は売上高1.7%減だが、消費増税前の駆け込み需要の影響(反動要因)のない2018年比では3.0%増と回復基調は継続している。
- (2) 商品別では、食料品を除く主要4品目でプラスとなった。主力の衣料品(14.3%増/23か月連続)は、外出機会増と猛暑で、ワンピース、ブラウス、Tシャツ等のジャストシーズンアイテムが好調だった他、前月に続き浴衣も伸長した。長引く猛暑で秋物は本格稼働していないものの、薄手の羽織やカットソー等、秋まで着られるアイテムが堅調だった。
- (3) 身のまわり品(17.2%増/24か月連続)は、ラグジュアリーブランドの増勢が続き、更にインバウンド需要の高伸が売上を牽引した。また、天候与件から日傘、帽子、サングラス等が引き続き好調に推移した他、旅行需要からトラベルバッグも伸長した。雑貨(17.3%増/24か月連続)では、化粧品が脱マスクの浸透からスキンケア、UV関連商品が好調に推移した他、免税売上也加わり36.1%増と大幅増となった。
- (4) 食料品(1.2%減/4か月ぶり)は、旅行、帰省、免税等の手土産需要から菓子が好調に推移したが、生鮮食品、惣菜が3か月ぶりにマイナスとなった。入店客数増に伴い、ビアガーデンやレストランは大幅伸長し、25.6%増と18か月連続増となった。
- (5) 9月中間段階の商況は、前年比11.3%増(9/18時点)、2019年比では4.2%増で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.7日(前年同月比 -0.2日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
①増加した：17店、②変化なし：0店、③減少した：1店
- (3) 8月歳時記(夏休み、お盆)の売上(同上/有効回答数13店舗)
①増加した：7店、②変化なし：5店、③減少した：1店

東京地区百貨店 売上高速報 2023年8月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	113,562,195	100.0	10.0
紳士服・洋品	6,708,842	5.9	12.4
婦人服・洋品	16,047,685	14.1	17.3
子供服・洋品	1,462,202	1.3	17.7
その他衣料品	1,307,363	1.2	-8.9
衣 料 品	25,526,092	22.5	14.3
身のまわり品	20,925,604	18.4	17.2
化粧品	11,051,240	9.7	36.1
美術・宝飾・貴金属	13,925,991	12.3	4.6
その他雑貨	4,393,678	3.9	21.7
雑 貨	29,370,909	25.9	17.3
家 具	1,296,178	1.1	13.1
家 電	1,014,698	0.9	43.9
その他家庭用品	2,764,122	2.4	6.2
家 庭 用 品	5,074,998	4.5	14.0
生 鮮 食 品	3,284,401	2.9	-2.4
菓 子	8,217,530	7.2	5.6
惣 菜	6,129,009	5.4	-4.8
その他食料品	8,091,518	7.1	-4.2
食 料 品	25,722,458	22.7	-1.2
食 堂 喫 茶	2,667,047	2.3	25.6
サ ー ビ ス	2,207,410	1.9	-37.3
そ の 他	2,067,677	1.8	12.4

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,183,987 千円	-6.0
従 業 員 数	13,785 人	-7.0
店 舗 面 積	728,746 m ²	-8.3

営 業 日 数	30.7 日	前年	30.9 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品が二桁増となった一方、食料品が4か月ぶりにマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が24か月連続、美術・宝飾・貴金属が3か月連続でプラスとなったほか、菓子が30か月連続でプラスとなったが、生鮮食品、惣菜が3か月ぶりにマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	10.0	—	24か月連続プラス
紳士服・洋品	12.4	0.7	22か月連続プラス
婦人服・洋品	17.3	2.3	24か月連続プラス
子供服・洋品	17.7	0.2	14か月連続プラス
その他衣料品	-8.9	-0.1	4か月連続マイナス
衣料品	14.3	3.1	23か月連続プラス
身のまわり品	17.2	3.0	24か月連続プラス
化粧品	36.1	2.8	24か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	4.6	0.6	3か月連続プラス*
その他雑貨	21.7	0.8	18か月連続プラス*
雑貨	17.3	4.2	24か月連続プラス
家具	13.1	0.1	3か月連続プラス
家電	43.9	0.3	11か月連続プラス
その他家庭用品	6.2	0.2	2か月連続プラス
家庭用品	14.0	0.6	8か月連続プラス
生鮮食品	-2.4	-0.1	3か月ぶりマイナス*
菓子	5.6	0.4	30か月連続プラス*
惣菜	-4.8	-0.3	3か月ぶりマイナス*
その他食料品	-4.2	-0.3	6か月連続マイナス*
食料品	-1.2	-0.3	4か月ぶりマイナス
食堂喫茶	25.6	0.5	18か月連続プラス
サービス	-37.3	-1.3	2か月連続マイナス
その他	12.4	0.2	7か月連続プラス
商品券	-6.0	-0.1	6か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>